

資料 1900 2次元バーコードリーダー

セットアップガイド

～ COM de KEY で 2次元バーコードの日本語入力 ～

追記 GS1-128、GS1-Databar 編集用の設定

追記 付録 コマンドプロンプトからの USBCOM ドライバインストール

はじめに

このたびは本製品をご購入いただき誠にありがとうございます。

本書では2次元バーコードリーダー「1900GHD-1USB」とソフトウェア製品「COM de KEY」(コムデキー)を組み合わせて使用する方法をご説明します。

対象製品

- ・ 1900GHD-1USB (2次元バーコードリーダー HDタイプ USBインターフェース)
- ・ COM-de-KEY スタンダード版またはプロフェッショナル版 (ソフトウェア)

特徴

- ・ 2次元バーコードリーダーをソフトウェア COM-de-KEY と合わせて使うことで、2次元バーコードの日本語をキーボードデータとしてパソコンに入力できます。本書の第1章～第3章をお読み下さい。

<使用イメージ>

	A	B	C
1	会員番号	名前	住所
2	A1234567	坂口孝信	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-
3	A7654321	横山龍之介	神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央4-
4	<input type="text"/>		
5			
6			
7			
8			
9			

- ・ COM-de-KEY プロフェッショナルでは、GS1-128、GS1 Databar の編集入力を行えます。本書の第4章をお読み下さい。
- ・ バーコードリーダーはパソコンに COM ポートに接続するデバイスとして認識されます。
- ・ COM-de-KEY を使用しない場合、2次元バーコードリーダーは COM ポートからデータを受信するアプリケーションで利用可能になります。

あらかじめご承知いただきたい事項

- ・ 本製品の運用の結果生じた損失については一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
- ・ 製品の内容は、予告無く変更する場合がありますのでご了承下さい。

お問い合わせ先

株式会社エイポック <http://www.a-poc.co.jp/>

info_mail@a-poc.co.jp

No.201106_C

第1章 バーコードリーダーを設定する

はじめに：スキャナはパソコンから取り外しておいてください。

1.USB COM Port Emulation のドライバファイルをホームページからダウンロードし、必ず解凍ソフトなどで解凍してください。（ダブルクリックでは解凍できていません）

http://www.a-poc.co.jp/products/p_2d/xenon1900.html#dl

2.ドライバを解凍してできたフォルダの中から、システムに適切なファイルをダブルクリックしてください。

[インストールプログラム]

Windows 7 ,XP 32 ビット版 …… Install_x86.bat をダブルクリック

Windows 7 ,XP 64 ビット版 …… Install_x64.bat をダブルクリック

(注)以前に古いドライバをインストールしたなら、先にアンインストールして下さい。Uninstall_x86.bat または Uninstall_x64.bat がアンインストールを行います。

(注)Windows 7 や Windows Vista は、ダブルクリックでのインストールおよびアンインストールを行うと「このコンピューターへの変更を許可しますか?」という警告を何度も表示します。すべて「はい」を選択してください。警告を表示したくない場合は本書巻末の付録を参照し、コマンドプロンプトからドライバをインストールしてください。

3.1900 の USB ケーブルをパソコンに接続してください。

4.パソコンが自動的に標準のドライバをインストールします。

「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示するまでお待ち下さい。(注)以前に接続したことがあるなら表示はありません。次に読み進めてください。

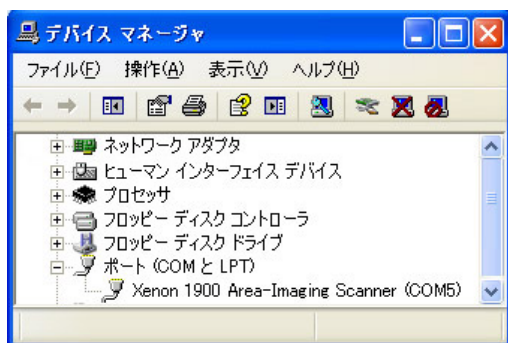
5.下記の設定バーコード「USB COM Port Emulation」をバーコードリーダーで読み取ってください。「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示するまでお待ち下さい。



USB COM Port Emulation

6. **[重要]** パソコンの USB ポートに接続したスキャナの USB ケーブルを抜き差しして下さい。

7.デバイスマネージャを開き、バーコードリーダーの COM ポートの番号を確認してください。



■COM ポートの番号の確認方法

Windows 7:スタートボタン-[コンピューター]-を右クリック-[プロパティ]-画面左上の[デバイスマネージャ]-[ポート(COM と LPT)]に[Xenon 1900 Area-Imaging Scanner (COMx)]を表示

Windows XP :[スタート]-[マイコンピュータ]を右クリック-[プロパティ]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ] -[ポート(COM と LPT)]に[Xenon 1900

Area-Imaging Scanner (COMx)]を表示

(注)COM の番号はパソコンによって異なります。

第2章 ソフトウェア COM de KEY を設定する

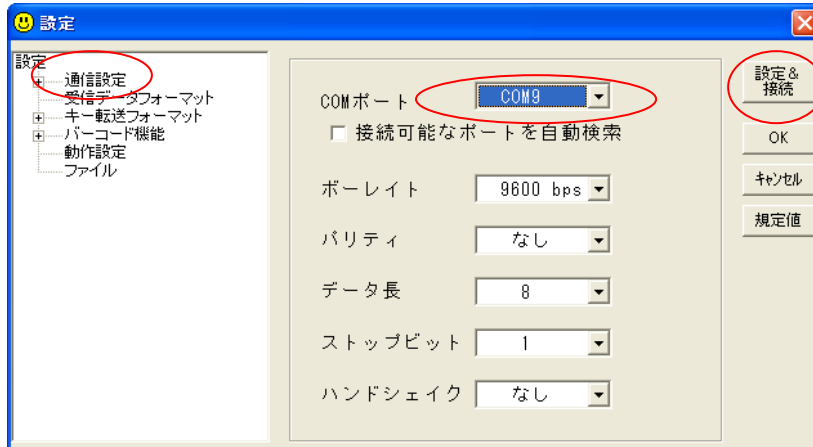
1.COM de KEY をパソコンにインストールして立ち上げてください。

(インストールの詳細は COM de KEY の説明書をお読み下さい)

2.タスクバーにある COM de KEY のアイコンをダブルクリックし、メニューから[設定]をクリックしてください。



3. 設定画面から[通信設定]を開き、[COM ポート]の番号をデバイスマネージャで確認した COM ポートの番号と同じ番号に設定してください。



■[接続可能なポートを自動検索]は、他に COM ポート (RS-232C の機器など) を使用するパソコンではチェックを外すことをお勧めします。

4.[設定 & 接続]をクリックして設定完了です。

COM de KEY のアイコンが黄色になっていたら、バーコードリーダーの読み取りができます。



動作確認する

バーコードリーダーと COM-de-KEY の設定ができたら、パソコンのメモ帳やエクセルなどを開き、バーコードの読み取りをお試し下さい。

■データ入力後に改行させたい場合は、次項の「サフィックス設定-CR を付加する」を設定してください。

サンプルバーコード

動作確認にご使用下さい

JAN-13	QR(英数)	QR(日本語を含む)
 4 912345 678904	 12345ABCDE	 1900GHD-1USB は、バーコードと2次元バーコードの読み取りが可能です。

第3章 よく使う設定バーコード

下記の設定バーコードを読み取ることで、バーコードリーダーを設定変更できます。設定はバーコードリーダー本体の不揮発性メモリに記憶され、電源を切っても保存されています。

さらに詳しい設定についてはホームページからユーザーズガイドをダウンロードしてご覧ください。

http://www.a-poc.co.jp/products/p_2d/xenon1900.html#dl

* 印は出荷時の設定です。

ブザー音量 – グッドリード

Low(低)



Medium(中)



* High(高)



Off(オフ)



サフィックスの設定 「サフィックス」とはバーコードデータの後に付加するキーです。

全てシンボルのサフィックスに CR(ENTER)を付加する…自動的に改行する場合に設定します。



全てのシンボルのサフィックスに TAB を付加する



* サフィックスをクリア(消去)する



標準の初期設定のリセット



全ての設定を工場出荷時の状態に設定します。

インターフェースが USB キーボードになりますので、COM-de-KEY で使用できなくなります。

通信するには再度 2 ページの USB COM Port Emulation を読み取ってください。

第 4 章 GS1-128、GS1-Databar 編集用の設定 (COM de KEY プロフェッショナル版のみ)

この章をお読みいただく前に、本書の第 1 章～第 3 章をお読みいただき、パソコンに 1900GHD-1USB と COM de KEY をセットアップしてください。

1.バーコードリーダーで次の設定用 2 次元コード「設定オン」を読み取ってください。

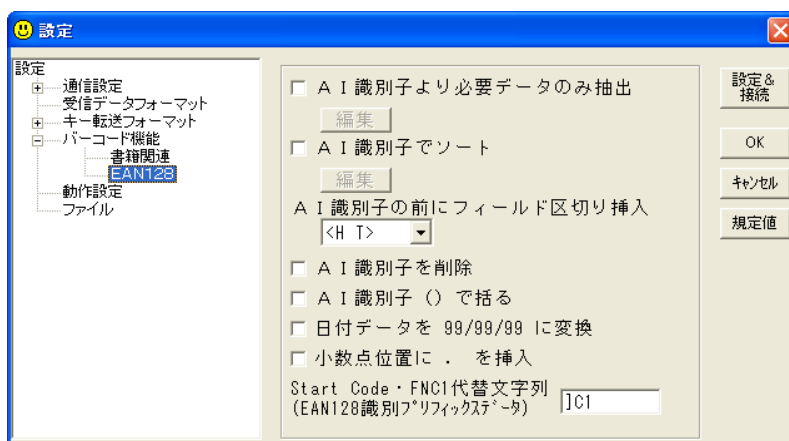
設定を元に戻す場合は「設定オフ」を読み取ってください。

設定オン	設定オフ
 <p>プレフィックス GS1-128 に]C1 GS1 Databar に]C1 を設定 コンジットをオン</p>	 <p>プレフィックス全削除 コンジットをオフ</p>

2.COM de KEY プロフェッショナル版の設定画面を開き、[設定]-[バーコード機能]-[EAN128 を使用する]にチェックを入れてください。[バーコード機能]に[EAN128]の項目が追加されます。

3.[設定] -[バーコード機能]-[EAN128]を開き、各種設定を行ってください。

(注) 画面上の表示は EAN128 ですが、GS1-128 および GS1 Databar の設定となります。



必須の設定：

「Start Code FNC1 代替文字列」初期値は]C1 です。もし空白なら]C1 と入力してください。

任意の設定：他の項目はお好みで設定してください。詳細は COM de KEY の説明書をお読み下さい。

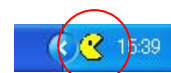
■よく使う設定

「A I 識別子の前にフィールド区切り挿入」<HT>を設定すると、バーコードを AI ごとに Tab で区切ります。Excel などに入力する場合に便利です。

「A I 識別子を削除」バーコード中の (01) や (17) などの括弧中の文字を削除して入力します。

4.[設定 & 接続]をクリックして設定完了です。

COM de KEY のアイコンが黄色になっていたら、バーコードリーダーの読み取りができます。



動作確認する

バーコードリーダーと COM-de-KEY の設定ができれば、パソコンのメモ帳やエクセルなどを開き、バーコードの読み取りをお試し下さい。

サンプルバーコード

動作確認にご使用下さい

(注) 以下は高密度なバーコードのため、プリンターによっては正常に印刷できない場合があります。

GS1-128



(01)14512345678903(17)070801

GS1 Databar 合成シンボル CC-A

(17)081201(21)1234567890

(91)840(92)12345678



(01)0451234567890

■備考

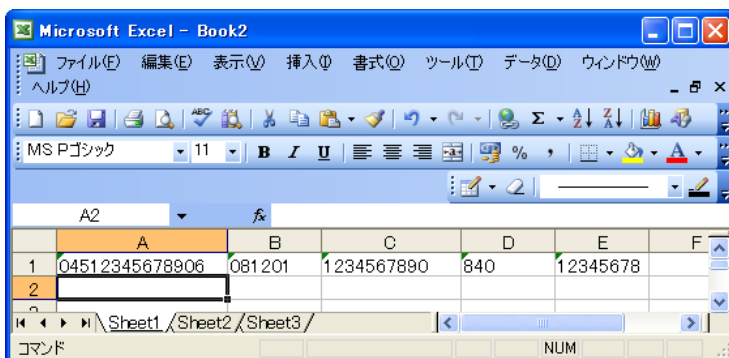
バーコード中のデータの順番は次の通りです。

バーコードの上下にある目視文字の順番は無関係です。また、括弧はありません。

01045123456789017081201211234567890918409212345678

■入力例

COM de KEY プロフェッショナル版を使うと、GS1-128 や GS1 Databar を下図のように Excel のセルごとに区切って入力することができます。AI が不要なら削除して入力することもできます。



第5章 困ったときは

うまく動作しない場合は下記の表をご覧ください、対策を実施してください。

対策を実施しても症状が改善しない場合は弊社までお問い合わせ下さい。

症状	原因	対策
2次元バーコードの日本語が正常に入力できない 英数字しか入力しない	バーコードスキャナが USB COM ポートエミュレーションに設定されていない	第1章をお読みいただき USB COM Port Emulation のドライバをパソコンにインストールしてください。設定バーコード [USB COM Port Emulation] をスキャンし、スキャナを設定変更してください。
USB COM ドライバをインストールできない	ドライバファイルが解凍されていない。	ダウンロードしたドライバファイルは圧縮されています。フリーの解凍ソフトなどで解凍してください。
	パソコンに制限付きアカウントでログインしている。	企業のパソコンなど管理された環境では、ドライバソフトウェアのインストールが制限されている場合があります。お客様のシステム担当者にご相談下さい。
データをパソコンに転送しない	COM-de-KEY が立ち上がっていない	Windows の[スタート]-[(すべての)プログラム]-[COM-de-KEY]をクリックして COM-de-KEY を立ち上げてください。
	COM-de-KEY の設定画面が開いたままになっている。	COM-de-KEY 設定画面の[接続&設定]をクリックして設定画面を閉じてください。COM-de-KEY が通知領域にアイコン化し、アイコンが黄色のとき、データ転送します。水色のときは読み取り出来ても転送しません。
	COM 番号が間違っている	デバイスマネージャで COM 番号を確認し、COM-de-KEY の設定画面[通信設定]で[COM ポート]にデバイスマネージャで確認した COM 番号を設定してください。
	いつもと異なる USB に接続した	一度設定したパソコンでも、他の USB コネクタに接続すると他の番号になりますのでご注意ください。
	スキャナ以外に USB COM や RS-232 で接続する機器がある	COM-de-KEY の設定画面[通信設定]で[接続可能なポートを自動検索]のチェックを外してください
入力したデータが改行しない	スキャナにサフィックスが設定されていない	設定バーコード（本書第3章）の[サフィックスの設定]-[全てのシンボルに CR(ENTER)を付加する]をスキャンして設定変更して下さい

付録 コマンドプロンプトからの USBCOM ドライバインストール

はじめに

Windows 7 や Windows Vista は、ドライバファイルをダブルクリックでインストールやアンインストールを行うと「このコンピューターへの変更を許可しますか?」という警告を何度も表示します。表示したくない場合はこの付録を参照し、コマンドプロンプトからインストールしてください。

コマンドプロンプトからの USBCOM ドライバのインストール手順

- 1.Windows のタスクバーから[スタート]-[すべてのプログラム]-[アクセサリ]を選択し、[コマンドプロンプト]を右クリックし[管理者として実行]をクリックしてください。「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」と表示したら「はい」を選択してください。
- 2.コマンドプロンプトが立ち上がります。USB COM Port Emulation のドライバがあるフォルダまで移動し、システムが 32 ビット版なら Install_x86.bat を、64 ビット版なら Install_x64.bat を実行してください。

インストールの例

(注)実際にはお客様のシステム管理者にご相談いただき、適切な操作を行ってください。

- 1.解凍後のドライバのフォルダ「Honeywell Scanning and Mobility (HSM) USB serial driver」をフォルダごとコピーして、パソコンの C ドライブ直下に貼り付けてください。
- 2.ドライバのフォルダを右クリック-[名前を変更]を選択し、半角で「HSMUSBCOM」と入力しフォルダの名前を変更してください(フォルダは入力しやすい半角英数の名前にしてください)。
- 3.コマンドプロンプトを前述の通り、右クリック-[管理者として実行]を選択して立ち上げてください。
- 4.コマンドプロンプトが C:¥Windows¥system32>と表示したら続けて「cd ..」(アルファベットの cd、スペース 1 つ、ピリオド 2 つ)を入力し Enter キーを押してください。

入力イメージ C:¥Windows¥system32>cd ..

5. コマンドプロンプトが C:¥Windows>と表示したら続けて「cd ..」を入力し Enter キーを押してください。

入力イメージ C:¥Windows>cd ..

6. コマンドプロンプトが C:¥>と表示したら続けて「cd HSMUSBCOM」(cd、スペース 1 つ、C ドライブ直下に作成したドライバフォルダ名)を入力し Enter キーを押してください。

入力イメージ C:¥>cd HSMUSBCOM

7. コマンドプロンプトが C:¥USBCOM>と表示したら続けて「Install_x86.bat」を入力し Enter キーを押してください(システムが 32 ビット版の場合)。ドライバのインストールが始まり、画面の文字がスクロールします。スクロールが停止するまでしばらくお待ち下さい。

入力イメージ C:¥HSMUSBCOM>Install_x86.bat

- 8.インストールが成功したら画面のスクロールが停止し、最終行付近に「preinstall: completed successfully」と表示します。コマンドプロンプトに「exit」を入力し Enter キーを押すと、コマンドプロンプトを閉じて終了します。

入力イメージ C:¥HSMUSBCOM>exit